

(3) 地域特産品推進事業

①富士山ネットワーク会議 産業研究会

事業目的

富士山麓に位置する、富士市、富士宮市、御殿場市、裾野市、小山町の4市1町が抱える産業課題について連携を図り、共通認識のもと課題解決に取り組むことにより、富士山周辺地域に加盟する各市町の産業振興に寄与することを目的とする。

事業内容

- ・富士のふもとの大博覧会2022（令和4年度）

環富士山地域の食材や魅力を来場者やバイヤーに情報発信し、環富士山地域の連携による地域の発展を目指すために実施するイベントである。

開催日時、場所

令和4年5月28日（土）、29日（日）
10:00～16:00（両日とも） ふじさんめッセ

イベント概要

富士のふもとのグルメフェア

富士山麓の個店・団体が自慢の一品を出品し、来場者の投票により、主食（ごはん、パン、めん）、一品惣菜、お菓子スイーツの3部門でグランプリ・金賞を決定する。

富士のふもとの厳選食財

富士山麓の食物（農水畜産物・加工食品・酒・調味料など）生産者・団体・事業者が生産品を展示販売し、来場者やバイヤー、メディア等にPRする。

富士山PRコーナー（富士山ネットワーク会議市町PRブース）

ステージプログラム（「富士のふもとのご当地キャラ大集合！」ほか）



来場者数

(人)

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度
41,042	39,595	40,444	40,035	8,342

(令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止)

②ご当地グルメシティセールス事業

(a) 富士つけナポリタン推進事業

事業目的

ご当地グルメを活用したシティプロモーションの推進及び地域経済の発展を資することを目的とする。

事業内容

「富士つけナポリタン」とは、トマトスープをベースに鶏ガラやコンソメ、ブイヨンなどのスープを合わせたWスープに麺をつけて食べる新感覚グルメであり、吉原商店街振興組合がテレビ番組と協力し、吉原のご当地グルメとして平成20年に開発された。

その後、タウンマネジメント吉原が、プロジェクトチーム「富士つけナポリタン大志館」を立ち上げ、まちの活性化、賑わいにつなげようと検討を重ねてきた。

これらの事業の中で、「富士つけナポリタン大志館」は、

- ・「富士つけナポリタン食べ歩きマップ」「つけナポリタン巡り」の作成・配布
- ・市内外・県外のご当地グルメイベントへの積極的な出展
- ・マスメディアに対するPR・広報活動

などを実施。

吉原地区の枠を超えた「富士つけナポリタン」普及のための活動を積極的に推進し、加盟店舗は吉原商店街に6店舗、吉原商店街以外の富士市内に4店舗、県外（東京都）に1店舗、合計11店舗（令和5年7月末現在）になる。

平成23年6月に、ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会「愛Bリーグ」の正会員となり、第6回B-1グランプリ（姫路大会）に初出展した。以降、令和元年11月の「B-1グランプリ in 明石」まで連続出展している。



活動団体

富士つけナポリタン大志館（事務局：富士商工会議所内 富士TMO事務局）

出展・参加イベント

令和元年度

- ・日本海テレビ開局60周年イベント
- ・FUJI&SUN
- ・富士東高学園祭
- ・わんぱく相撲静岡大会
- ・富士まつり
- ・ママかぐやとの料理教室
- ・こどもの国富士市フェア
- ・愛Bフォーラム・B-1出展説明会
- ・西伊豆まつり
- ・吉原宿場まつり

イメージキャラクター

「ナポリン」



- ・富士山女子駅伝
- ・商工フェア
- ・富士自動車学校大感謝祭
- ・B-1 グランプリ i n 明石
- ・岳南ビール電車&ご当地グルメ
- ・吉原まるごとマルシェ
- ・富士YEG(全国大会)分科会
計 16 回



B-1 グランプリ i n 明石

令和 2 年度

- ・市内テイクアウト弁当販売会
- ・岳南電車 イソギク植樹事業
- ・吉原一の市 など計 6 回

令和 3 年度

- ・F U J I & S U N
- ・岳南電車 イベント電車事業
- ・第 1 回 富士山サイクルロードレース大会



富士東高学園祭

令和 4 年度

- ・F U J I & S U N
- ・岳南電車 イベント列車事業
- ・吉原まるごとマルシェ
- ・第 2 回 富士山サイクルロードレース大会
- ・ほうじ茶マルシェ
- ・アルティメットドリームカップ

<2017 東海・北陸 B-1 グランプリ i n 富士>

2017 東海・北陸 B-1 グランプリ i n 富士の実行委員会と連携を図りながら、振興組合・富士つけナポリタン大志館と共に会場を盛り上げた。

前夜祭の「商店街パレード」の際には、商店街の皆さんや地元の高校生、全国から出展した 21 のまちおこし団体などに対して、吉原の魅力や情報を発信した。

開催日時

平成 29 年 2 月 11 日 (土)、12 日 (日) 両日とも 9 時 30 分～15 時 30 分

来場者数

(人)

日程	来場者数	天候
2 月 11 日 (土)	78,000	晴れ
2 月 12 日 (日)	89,000	晴れ
計	167,000	



投票結果

順位	団体名	ご当地名
ゴールドグランプリ	西伊豆しおかつお研究会	静岡県賀茂郡西伊豆町
シルバーグランプリ	富士宮やきそば学会	静岡県富士宮市
ブロンズグランプリ	津ぎょうぎ小学校	三重県津市
第4位	高浜とりめし学会	愛知県高浜市
第5位	めいほう鶏ちゃん研究会	岐阜県郡上市

出展団体（21 団体）の売上

2月11日（土）	11,194,100 円	（30,388 食）
2月12日（日）	12,521,700 円	（33,696 食）
合計	23,715,800 円	（64,084 食）

チケットの販売状況

前売り	11,447 冊
当日	17,040 冊
合計	28,487 冊（28,487,000 円）
※1冊1,000円（100円券×10枚綴り）	

経済波及効果

- ・主催者側の支出は、3,500万円。
- ・イベントの来場者（167,000人）の支出は、5億8,400万円。
⇒一人当たり消費支出額3,497円。（アンケート調査より算出）
- ・主催側及び来場者の支出から市外に支出した金額を除いた直接効果は3億9,200万円。
- ・直接効果より算出された経済波及効果は5億3,700万円。



(b) 富士山ひらら推進事業

事業目的

ご当地グルメを活用したシティプロモーションの推進及び地域経済の発展を資することを目的とする。

事業内容

「富士山ひらら」とは、平成19年度から富士市商工会女性部が開発を進めてきた、地元産の米粉と富士山からの湧水を使用した、短冊のように薄い麺である。開発当初は小麦粉を使用していたが、「安心できる地域の食材を使いたい」という思いのもと、富士山南麓産の米粉を使用するようになった。「紙のまち富士市」から七夕の短冊をイメージする形とし、紙のように薄い麺ながらも、米のモチモチ感とツルツル感があり、喉越しも良く仕上がっている。つけ麺、お鍋、カレー、パスタ、汁物、サラダ、スイーツなどあらゆる料理に使用できる。

平成25年4月にはNPO法人富士山ひららを設立し、富士市商工会女性部との相互の共同活動として県内外のイベントに参加し、地域に貢献している。

平成27年10月に富士山ひらら商品化5周年記念事業を富士川楽座にて開催し、富士山ひららを使用した7種類の料理を多くの来場者に提供した。

また、平成30年度には商品改良の結果、常温で6ヶ月間保存が可能となり、現在では富士川楽座や新富士駅構内の土産物屋等で販売されているほか、市内の一部飲食店で食材として使用されている。



パッケージをリニューアルした
富士山ひらら

出展・参加イベント

令和元年度

- ・ F U J I & S U N
- ・ 富士山一周サイクリング
- ・ 富士市フェア（富士山こどもの国）
- ・ 富士まつり2019
- ・ 富士山女子駅伝

令和2年度

- ・ 富士山一周サイクリング

令和3年度

- ・ F U J I & S U N
- ・ 第1回 富士山サイクルロードレース大会



富士市産業まつり商工フェア

令和4年度

- ・ F U J I & S U N
- ・ 富士山一周サイクリング
- ・ 富士山女子駅伝
- ・ 富士山サイクルロードレース大会



活動団体

NPO法人富士山ひらら（事務局：富士市商工会内 NPO法人富士山ひらら事務局）

(4) 商業振興助成事業

①富士市産業まつり商工フェア

事業目的

富士市の産業や地場産品などを紹介するとともに、市民と商工業者とのコミュニケーションの場を設け、商工業振興と市民の消費生活に寄与することを目的とする。

事業内容（令和4年度）

富士市中央公園を会場に、地元の商工業者が富士ブランドや地域グルメなどの展示販売を行う。また、アクセサリ、スイーツデコ等の制作体験コーナーや、富士市出身のシンガーソングライターによるミニライブ等のステージイベントなどを実施し会場を盛り上げた。



令和4年度は、富士市商工会議所青年部のご協力のもと、富士市の姉妹都市であるカリフォルニア州オーシャンサイド市のサンセットマーケットをイメージした出展もあり、多くの来場者を楽しませた。

来場者数

(人)

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度
約60,000	約61,000	約55,000	約58,000	約58,000

(令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止)

主催団体

富士市産業まつり商工フェア実行委員会

②富士市商業振興協議会

活動目的

富士市内の商店街、有志大型店により構成された商業団体として、地域商業の振興と調和ある発展を図り、まちづくりに寄与することを目的とする。

構成団体

吉原商店街振興組合、富士本町商店街振興組合、広見ショッピング商店会、(株)エンチャョー(株)マキヤ、エテルナ(株)、(株)静岡伊勢丹コリドーフジ、富士商工会議所、富士市商工会、富士市産業交流部 その他4団体

主な事業内容

・ふじのまち得ゼミナール

富士市内の個店の店主等が講師となり、専門知識や実技体験を無料で提供し、新規顧客の獲得、店舗のPRに繋げることを目的として実施。

実施日 令和4年10月1日～10月31日

場 所 市内参加店舗

参加者 47店舗(54講座) 受講生 685名



・個店支援事業

「SNS・Web活用実践塾」を開催と題し、講師を招いてWeb集客や情報発信に関する勉強会を開催。市内の個店5店舗が参加。

・ホームページ・SNS等による情報発信

ホームページ掲載店舗写真の撮影及びまち得ゼミナールプロモーション動画撮影。

・ふじのまちアート写真展示会

個店の商品や店主の魅力を誇張したユニークな写真を撮影し、SNS等を活用した個店PRに活用するとともに、令和4年度は各店舗の写真30作品を集めて展示会を開催した。

・商業セミナー

デジタルを活用して個店の効率化と集客力を図ることを目的に、講師を招いてセミナーを開催し、26名が参加した。

・イベント事業の協力

商工フェア、軽トラ市、ひろみ市、吉原まるごとマルシェのイベント開催に協力。また、検温シールを作成し、提供した。

(5) 産業交流展示場運営管理

①富士市産業交流展示場（ふじさんめッセ）

設置目的

産業に関する情報、技術等の交流を促進し、地場産業を振興するとともに、人と物の交流により市民文化の向上を図ることを目的とする。

施設概要

指定管理者：Fメッセ共同事業体

所在地：富士市柳島 189 番地の 8

敷地面積：38,192.69 m²

延床面積：5,818.00 m²

建物構造：鉄骨造 平屋建

竣工年月：平成 20 年 3 月

来場者数

(人)

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
228,564	226,039	221,490	52,519	116,155	111,213

(令和 2～4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により来場者数が減少)

主なイベント実績

- ・富士のふもとの大博覧会
- ・キッズジョブ
- ・ものづくり力交流フェア
- ・なんでも富士山
- ・住宅フェスティバル
- ・静岡伊勢丹販売会 など



富士のふもとの大博覧会



キッズジョブ

(6) 計量事業

①計量関係事務

事業目的

適正な計量の確保を目的とし、計量法に基づいた下記の検査を実施している。また、市内における適切な商業活動を促進するため、事業者が正しい計量を行うよう指導や啓発活動を行っている。

事業内容

- ・特定計量器定期検査、代検査

取引や証明に使用する計量器は、2年に1度必ず定期検査を受検し、合格しなくては使用してはいけない。富士市では偶数年度に検査を実施している。また、定期検査に代わる、計量士による代検査の受検も可能である。代検査は実施時期に定めがないため、通年受験することができる。

<特定計量器定期検査>

	H20	H22	H24	H26	H28	H30	R2	R4
件数	576	545	536	490	452	476	468	453
検体数	1,908	1,844	1,635	1,517	1,407	1,394	1,352	1233
不適正数	6	7	13	4	4	13	10	21
不適正率(%)	0.3	0.4	0.8	0.3	0.3	0.9	0.7	1.7

<代検査>

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
件数	33	174	29	177	42	196	43	199
検体数	184	596	130	637	219	760	121	730

- ・商品量目立入検査

市内のスーパー等食品販売事業所に立ち入り、正しい計量が行われているか検査を実施している。検査対象となるのは、各事業所で詰め込みされている、肉・魚・惣菜等のパック商品など。検査では、内容量が表示量より量目公差を越えて少ない場合に、事業所に注意や指導を行う。

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
件数	5	12	12	12	8	12	12
検体数	209	525	485	449	345	480	464
不適正数	22	14	1	3	1	3	0
不適正率(%)	10.5	2.7	0.2	0.67	0.3	0.62	0

・普及活動

計量ゲームの実施（令和4年度）

富士市産業まつり商工フェアにおいて、重さ当てゲームを実施。約250名が参加し、参加者は実際に計量で使用している分銅が入った「分銅箱」を持ち上げて重さを予想し、上位5名には景品が送られた。

また、計量啓発チラシなどの配布も実施した。



指定定期検査機関

平成16年より一般社団法人静岡県計量協会を指定定期検査機関に指定している。2年に1度実施する特定計量器定期検査は、指定定期検査機関に委託し実施している。

一般社団法人静岡県計量協会

会長：河瀬 行生

住所：静岡市葵区牧ヶ谷2078 TEL：054-278-0025 FAX：054-278-0056